

研修会報告

2022年10月6日

文責：尾池泰典

研修会テーマ「基礎から学ぶ薬剤感受性検査」

開催日時 2022年10月2日（日） 13：30～16：15

会場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

司会 尾池泰典

生涯教育点数 20点

参加者 会員参加者 30名 入会申請中会員 0名 非会員 0名 賛助会員 4名 学生 0名
合計 34名

講演1「CLSI M100-ED32 ドキュメントの主な変更点について」

ベックマン・コールター株式会社

ダイアグノスティクス マイクロバイオロジー事業部 高相道忠 先生

講演2「薬剤感受性結果を読む前に整理しておきたい予備知識」

宮城県立こども病院 検査部 須田那津美 技師

講演3「薬剤感受性検査の基本と薬剤耐性菌の検出法」

山形県立中央病院 検査部 鈴木裕 技師

16:15 終了

内容

今回の研修会は「基礎から学ぶ薬剤感受性検査」をテーマに開催し、微生物検査をこなすだけでなく、検査結果や薬剤についての理解を深めることで臨床検査技師の知識向上につながり、感染症診療や感染症対策に貢献できることを目的とした。

講演1では薬剤感受性検査の世界基準の一つである CLSI M100 ドキュメントの主な変更点をお話いただいた。最新の変更内容が自動検査装置に反映されるまでには数年を要してしまうが、臨床検査技師が知識として蓄えることで、明日から臨床現場に適応することが可能なため、自動分析装置に頼るだけでなく、知識を蓄える重要性を改めて実感した。

講演2では医師・薬剤師など多職種と検査結果をディスカッションする際に覚えておくと有益な内容をお話いただいた。例えば抗菌薬の成分名、一般名、製品名の3種類を覚えると有効であるとのことであった。また投票機能を活用することで、視聴者参加型の講義を実施することができた。

講演3では薬剤感受性検査の基礎から実際までをお話いただいたことで、活発な討議に繋がり、質疑応答が大いに盛り上がり、参加者の日頃の疑問を解決できたものと考えられた。

皆最後まで熱心に聴講していた。今後も宮城県臨床検査技師会員のために楽しく学べる研修会を開催し、勉強する場を提供したい。